

平成25年2月28日
水産庁

水産物の市況について（平成24年2月及び3月）

—東京都中央卸売市場における平成25年2月（平成25年1月21日～2月20日集計）の市況と、
平成25年3月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成25年2月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月並みとなり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は弱含みに推移しました。

II 平成25年3月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は、三陸沿岸、犬吠埼から房総沿岸、日本海中部海域）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は冷凍原料、製品ともに前月と比べやや増加すると見込まれるものの、需要があることから卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。（三陸沿岸、常陸沖から犬吠埼沿岸、駿河湾から伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域）

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

日本海、太平洋側ともに徐々に終漁しつつあり、入荷量は前月と比べ減少すると見込まれ、卸売価格は強含みに推移すると見込まれます。

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、需要があることから卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は赤身類、脂身類ともに前月と比べやや増加すると見込まれるものの、需要が出てくることから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べ大幅に増加すると見込まれるものの、卸売価格は初物需要からやや強含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	2 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
24年	48	774	47	944	52	894
前年	41	807	41	973	48	915

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
 2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格
(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	2 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	383	85	81	88
さけ・ます(平均)	533	103	83	88
(ぎんざけ塩蔵品)	525	100	78	81
(あきさけ塩蔵品)	420	100	95	104
(ときさけ塩蔵品)	840	100	101	116
(べにざけ塩蔵品)	857	102	104	96
(さけ類冷凍品)	510	102	86	90
さば(生鮮品)	422	102	121	106
するめいか(平均)	402	90	100	100
(生鮮品)	396	87	93	93
(冷凍品)	433	100	125	133
あじ(生鮮品)	574	111	112	116
まぐろ(冷凍品)	1,103	95	76	80
(めばち冷凍品)	719	92	67	74
(きはだ冷凍品)	568	86	57	64
(くろまぐろ冷凍品)	3,935	100	101	114
(みなみまぐろ冷凍品)	2,011	113	85	91
かつお(生鮮品)	475	38	56	50

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:2月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成20年～24年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班
 代表 03-3502-8111
 内線 6617 岡野、庄田
 直通 03-3591-5612